

富士精工は、ドイツのマイスター制度にならい、「日本一(富士)の精密工具(精工)をつくる」 という志のもと、1958年に創業いたしました。以来、精密工具分野における「ものづくり」を通じ、 微力ながら産業界や地域社会の発展に貢献してきました。

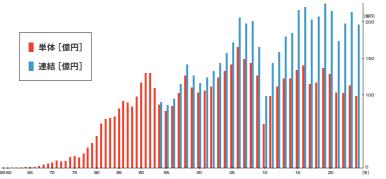
現在のようなチャレンジングな環境においても、変化を恐れず常に前向きに対応するとともに、 「創業の心」を守り、世界に広がったステークホルダーの方々から、必要な会社・大事な会社と 認めていただけるよう、精力的な事業活動を進めてまいります。

代表取締役会長 兼 社長 森

■会社概要

会社名	富士精工株式会社 (FUJI SEIKO LIMITED)
創 立	1958年3月
資本金	28 億 8,201 万円
株式	名古屋証券取引所 メイン市場上場
代表取締	5役会長兼社長 森 誠
従業員	連結:1,215名 単体:406名(2025年2月28日現在)
売上高	連結:196 億円 単体:98 億円(2025年2月期)

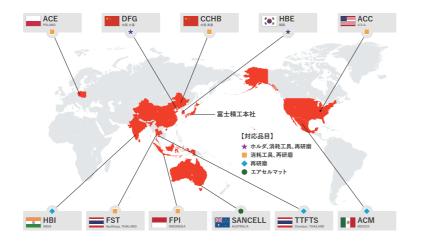
■売上の推移 [創立~現在まで]



海外拠点

世界各地に広がるお客様に寄り添い ともに考え、ともに成長する。

富士精工グループ拠点の立地を生かした調達・製造で 世界最適調達に対応し、お客様が求める高品質・低コスト・ 短納期に確実にお応えします。



国内拠点

日本全国をカバーするネットワークで 製造現場のあらゆる課題を解決する。

1958年の創業以来モビリティ産業を中心に、 全国に広がるネットワークで日本のものづくりを支えています。



◈富士精工株式会社

〒473-8511 愛知県豊田市吉原町平子 26 番地 TEL:0565-53-6611







公式サイト 採用ページ



創る、つなぐ Connecting idea, Creating solutions.

お客様のあらゆる現場にソリューションを提供し、課題を解決いたします。



檢富士精工株式会社

C-max 驚きと、感動と、満足を-

工具に関わるあらゆる仕事をサポートする ツールエンジニアリングカンパニー

切削工具とホルダーの理想的結合(Clamp)の極限(max)を追求するコンセプトとして誕生した C-max。 製造・サービス・販売事業を融合した独自のビジネスモデルを構築し、 特殊工具メーカーのスケールを超え、世界の製造現場を支えています。

製品・技術サービス



回転工具:ホルダ

コスト低減、汎用機化に貢献。独自の発 想と技術で製造現場の様々な課題を解決 しています。





治具 / チャック 作業の段替え性向上や投資削減など 付加価値の高い治具/チャックを 提供します。





サービス

「ものづくり現場の困りごと 解決企業」として、富士精 工ならではのサービスをご 用意しております。



電動車関係

クルマの電動化へのシフト により、変革する製造業を サポートします。



トータルツーリングメーカー

機械加工分野の上流から下流まで

モビリティ産業とともに歩んできた長年の実績と対応力を多様な産業へ

- ●工具、治具、装置などの加工点周りをトータルで設計製作する国内唯一の特殊工具メーカー
- ●世界中から最先端の優れた製品をお届けする機械・工具総合商社
- ●上流から下流まで加工点まわりのトータルエンジニアリングカンパニー

FTCE 事業

FTCE

FUJI Total Connected-max Engineering

多様なニーズ、テクノロジー、データ、ものづくりを

富士精工のソリューションでつなぎ合わせて、

お客様の価値を創造、最大化します。

C-max・事業コンセプト

製品・技術サービス



海外事業 工具事業 冬国の地域事情や 特殊ツーリング 市場環境に合わせた 特殊切削工具 提案・協業活動 電動車用工具 06 試作部品製造事業 試作コーディネータ 多品種少量部品生産 Connected 加工ラインの実証 -max プラットフォーム事業 商社事業

工場現場のコストマネジメント トレサビリティ作業 コンシェルジュ業務 什組み開発 業務の標準化

工具・設備商材 エンジニアリング

設備事業

設備/装置

搬送機器 高機能治具

システムアップ作業

自動化/無人化装置 ロボット/ FA

システムインテグレータ

専用ロボットモジュール

HISTORY

特殊超硬工具メーカー

1958

マテハン

を素早く実現。

ワークの搬送、治具段替え

を行うハンドホルダを開発。

圧倒的な低コストで自動化

工具に夢とロマンを求めて

'58 名古屋市にて会社創立 超硬チップ切断、バイト、カッター等の 製造販売開始

1960

時代を先見した C-max

'64 豊田市に工場設立 フォームドバイト・リーマー製造販売開始 特殊超硬工具メーカーの原型完成

'68 本社機能移転

'69 アメリカ視察により業態変換。 スローアウェイ工具の製造販売開始

1970

工具の国産化と技術の深化

ツーリングメーカー

'70 外国製超精密工具の国産化

'71 C-max 溝入れ工具発表

'73 微調整ホルダー開発

'74 クイックチェンジホルダ開発 (以後シリーズ化) 超硬工具協会加入

'77 ダイヤモンド工具製造販売開始

'79 自動車試作部品事業参入

1980

事業拡大と株式上場

'82 名古屋証券取引所株式上場 (第二部・現メイン市場)

Gドリル発表(以後シリーズ化)

'84 富士エンジニアリング設立 熊本工場設立

'88 海外進出を開始

HAN BOO ENGINEERING設立(韓国) SANSETSU AUSTRALIA 設立 (現 SANCELL) ACCUROMM USA 設立 ('89)

世界各地のお客様のために

'90 ワーク測定ゲージ製造販売開始 '91 FSK (THAILAND) に資本参加

(現 FUJISEIKO (THAILAND))

'92 鹿児島工場設立

1990

'93 FUJI PRESISI-TOOL INDONESIA 設立

'95 大連富士工具設立

ツールエンジニアリングカンパニー

一工具メーカーからの飛躍

'00 FTF 事業盟始

2000

'03 TT FUJI TOOL SUPPORT 設立 '04 ACCURAMM CENTRAL EUROPE 設立 広州富士工具設立

ワークチャック治具の設計製作開始 '05 長春韓富工具設立

2010

機械加工分野の上流から下流まで 大変革時代への挑戦 一貫対応

'10 雷動車関連事業への参入

'12 ACCURAMM MEXOCO 設立

'18 韓富インド有限会社設立

2020

トータルエンジニアリングカンパニー

'21 志賀機械工業株式会社を子会社化 '23 FTE を FTCE へ発展し、事業化